

—上野の森の展覧会はいかがでしたか。
 翔子さん うれしかったです。みんな見に来てくれて。サインの時にみんなに心をこめてサインをするんですね、サインいっぱい。
 泰子さん 1日800人サインしたんですね。来場したのに帰っていただいた方もいて。あと、翔子ちゃんが好きな人が来てくれたね。
 翔子さん うわっ。秘密です。
 —その出会いは？
 翔子さん お台場行って。
 泰子さん 翔子はマイケル・ジャクソンが大好きでマイケルのダンスがすごく上手になっ

て。それでおとし、6月25日のマイケルの命日にお台場のイベントに行ったんです。マイケルダンスの少年ダンサーに出会って一目ぼれ。彼は中学一年生。すごい翔子の面倒見してくれるやさしい子。年に一度か二度偶然会えるということではかえらないんですよ。でも、翔子は結婚して、結婚してって。毎日、彼のためにドレスを着るために痩せる、とかね。
 先日、翔子の揮毫と講演で翔子がマイケルダンスを踊ったんですよ。そしたら彼が見に来てくれて、翔子が踊っていると駆け上がってきてふたりで踊ってくれたんです。

申し合わせも何もないのにびたっと息が合っ
 て。ふたりが舞台で手をつないでね。あのと
 き私はすごく感動したんです。13歳の彼が恋
 を知ってしまったら終わってしまう。この瞬
 間しかないなと思って。
 —今を燃やしてますね。
 翔子さん うん。
 —たいへんなことではないですか。
 翔子さん たいへんじゃないです。
 —一日のなかで楽しいのは？
 翔子さん お勉強して、まず頭洗って。ブラ
 シでいいねいにとかして乾かして寝るん
 です。テレビでユーチューブ見たり。
 泰子さん とにかくよろこびいっぱい。お
 そうじはあまり好きじゃない？
 翔子さん うん。
 泰子さん でもいつ彼が来るかわからないっ
 てきれいにしていますよ。
 翔子さん 彼が（私を）連れに来ましたって。
 —そしたら何をしますか？
 翔子さん いっしょにダンスをするんです。
 —悲しいことやつらいことは？
 翔子さん ああ、ないですね。元気で、強くて。



キラキラの魔法をかけて ハッピーを届けたい

《インタビュー》 書家 金澤翔子
 母 金澤泰子

ダウン症をもちながら書家として大活躍の金澤翔子さんが前回、『みんなのねがい』に登場したのは2015年1月号。そのときと違うのは、翔子さんは2年前から一人暮らしをしていること。翔子さんの作品展や揮毫の会はどこもたいへんな人気です。昨年、9月に上野の森美術館で開催した書道展には7日間で4万人が翔子さんの作品を見に訪れました。



「夢」は翔子さんの好きな言葉



作品づくりにのぞむ翔子さん

特集 青年の主張